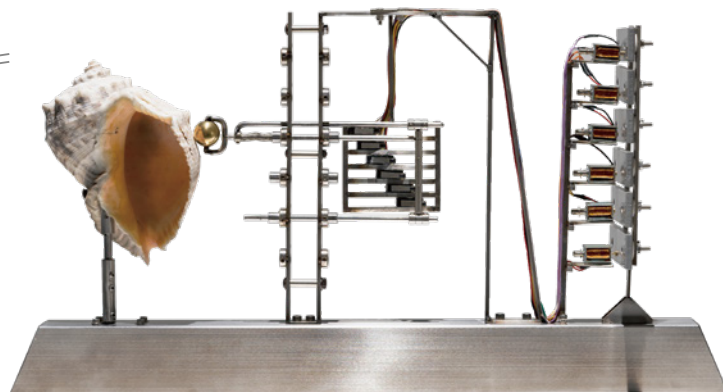


Produced by Creative Art School

SOUND & ART

Performance / Workshop

サウンド & アート展



藤田クレア 《Invisible soundscape ~version 1: (1+√5)/2+x~》

見る音楽、聴く形



明和電機
《セーモンズII》

ベルナル＆フランソワ・バシェ
「バレット・ソノール」
《The Candlestick》, 《The Star》



ベルナル＆フランソワ・バシェ
「バレット・ソノール」《The Spring》



ハンス・ライヒェル 《ダクソフォン(タンク)》



フィル・ダドソン: フロム・スクラッチ
《Sprong》

2021年11月6日[土]ー11月21日[日] アーツ千代田 3331(メインギャラリー)

開場: 12:00-18:00 ※入場は17:30まで 期間中無休 入場料: 一般(1200円) 高校・大学生(600円) 中学生以下(300円) ※要予約

主催: クリエイティブ・アート実行委員会 共催: 東京都教育委員会 会場協力: アーツ千代田 3331 企画制作: ミューズ・カンパニー

助成: 公益財団法人 朝日新聞文化財団、公益財団法人 全国税理士共栄会文化財団、笹川日仏財団、アサヒグループ芸術文化財団

SOUND & ART

Produced by Creative Art School

創造的な音楽づくりから創造的な楽器へ

本展は「見る音楽、聴く形」をテーマに、新しい創造的な楽器やサウンドをめぐる作品を集めた展覧会です。

美術と音楽の歴史を紐解いてみると、そこにはさまざまな交差点があります。一般的に「音楽」といえば、楽譜に書かれたものを楽器で演奏して作るものと考えられています。けれども、20世紀に入ってから、これまで音楽とは考えられなかった「音」や視覚的な要素を音楽の中に取り込む試みがなされてきました。既存の楽器では出せない「音」や視覚的な要素を作り出すために、新しい「楽器」が作品として作られました。その一方で、一般には視覚芸術に分類される彫刻やオブジェ、インスタレーション作品の中には魅力的な「音」を奏でる作品があります。

今回の展覧会は、そうした「見る音楽」と「聴く形」を集めたものです。1913年より、未来派のルイージ・ルッソが制作した《イントナルモリー》(複製)、音響工学を学んだベルナル・バシェと彫刻家であったフランソワ・バシェ兄弟による音響彫刻作品、日本のサウンド・アートの草分けである吉村弘の《サウンド・チューブ》、音も含めて美術作品として提示する宇治野宗輝の自動リズム演奏装置「The Rotators シリーズ」などさまざまなアイデアによる独自の作品約40点が一同に会します。展覧会を主催するクリエイティブ・アート実行委員会は、これまで、多様な人々が共に創造することから新しいアートの可能性を探る「クリエイティブ・アート・スクール」を、30年にわたり開催してきました。その目指すところは、創造的な思考を広げることにあります。特に「創造的な音楽づくりワークショップ」では、既存の楽器を楽譜通りに演奏するところから、自らの発想で楽器の異なる奏法を発見し、音楽をつくり(作曲)、参加者同士が共に創ることをテーマとしてきました。

ここでは、そこからさらに踏み込み、20世紀以降に作られた新しい楽器、あるいは自動演奏装置を創り出すことで音楽づくりの基盤を自ら変えていこうとする活動自体に目を向けます。そのような楽器や装置を紹介することが、ひいては、組織や社会の基盤を変えていくことにも通じるのではないかと考えるからです。楽器であり、美術作品でもある作品群は「音」と「形」のはざまで見るとりこにすることでしょう。まさに唯一無二、オリジナルな作品をお楽しみください。

RELATED EVENTS / 関連イベント

Performance / パフォーマンス

●コンサート&コラボレーション

谷川俊太郎×内橋和久(『クレーの絵本』朗読と演奏)、他

●トーク&デモンストレーション

明和電機、永田砂知子、宇治野宗輝、藤田クレア、金沢健一、他

Workshop / ワークショップ

●絵画から音楽を創るワークショップ

●視覚に障害のある方々との音楽ワークショップ及び展覧会ツアー

●指導者対象の創造的な音楽づくりワークショップ、他

会期中、展覧作品の演奏をご鑑賞いただけるコンサートや作品制作者自らによるトーク&デモンストレーション、コラボレーション、創造的な音楽ワークショップ、展覧会の意味を深めるディスカッションなどを多数開催予定です。詳しくは10月1日以降に公式ウェブサイトにてお知らせします。(公式ウェブサイト: http://www.musekk.co.jp/programs/2111_soundandart.html)

【入場料(日時指定制)】

新型コロナウイルス感染症予防の観点から入場時間を2時間ごとに分けた日時指定予約制を導入します。事前に予約サイトよりご予約をお願いします(予約サイトは10月1日にオープン予定)。詳しくは公式ウェブサイトからご確認ください。

一般	1,200円
高校・大学生	600円
中学生以下	300円

※表示料金に消費税込 ※障害のある方は半額、お一人で会場までお越しにならない障害のある方の付添の方1名まで無料。入場時に障害者手帳をご提示ください。 ※未就学児無料 ※コンサート・イベント等は別途参加費をいただきます。 ※会場に余裕がある場合のみ、当日窓口にてチケットを販売いたします。 当日入場料: 一般1500円、高校・大学生900円、中学生以下600円(消費税込)

Discussion / ディスカッション

●「楽器をつくる、社会をつくる」

「楽器をつくる」という実践は、どのような美学的、文化的、そして社会的意味があるのでしょうか。コロナ禍の中で社会や経済が大きな転換期を迎えている今、芸術はどのように変化するのでしょうか。芸術と社会において現代求められている「創造性」とは何なのでしょう。[SOUND&ART]展を手がかりにして、今回の展覧会学術企画協力者である毛利嘉孝(東京藝術大学教授)と中川克志(横浜国立大学准教授)をモデレーターにアーティスト・研究者と徹底的に議論します。 日時: 11/20(土) 14:00-16:00

【会場】

アーツ千代田 3331

(東京都千代田区外神田6丁目11-14)

●アクセス

東京メトロ銀座線末広町駅4番出口より徒歩1分
東京メトロ千代田線湯島駅6番出口より徒歩3分
都営大江戸線上野御徒町駅A1番出口より徒歩6分
JR御徒町駅南口より徒歩7分
JR秋葉原駅電気街口より徒歩8分
JR御茶ノ水駅聖橋口より徒歩15分

●お問い合わせ

クリエイティブ・アート実行委員会

Web: <http://www.musekk.co.jp>

Tel: 03-6426-5182 / Mail: musekk@aol.com



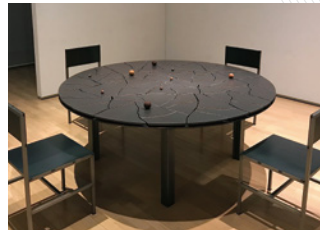
invisi dir《KO-TONE スパイラル木琴》



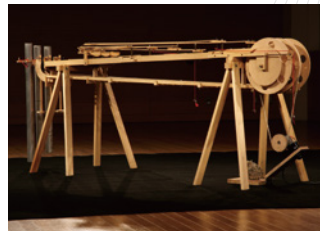
フランソワ・バシェ《勝原フォーン》



宇治野宗輝《The District of Plywood City》



金沢健一《音のかけらーテーブル (57memories)》



マーティン・リッツズ《Thinking Machine》

[表面図版] 明和電機《セーモンズII》(Photo:三橋純)、藤田クレア《Invisible soundscape ~version1:(1+√5)/2+x~》(Photo:加藤健)、ベルナル・バシェとフランソワ・バシェ「バレット・ソノール」《The Candlestick》《The Star》《The Spring》(京都市立芸術大学、Photo:SHINOBU ANZAI)、齋藤鉄平《波紋音》、フィル・ダドソン:フロム・スクラッチ《Sprong》(Photo:Philip Dadson)、ハンス・ライヒェル《ダクソフォン/タンク》(Photo:Hans Reichel) [裏面図版] invisidir《KO-TONE スパイラル木琴》(Photo:Masahiro Oku)、フランソワ・バシェ《勝原フォーン》(大阪府/修復:東京藝術大学バシェ音響彫刻修復プロジェクト)、宇治野宗輝《The District of Plywood City》©UJINO Courtesy of ANOMALY、Photo:ただ(ゆかい)、金沢健一《音のかけらーテーブル (57memories)》、マーティン・リッツズ《Thinking Machine》(東京大学駒場博物館、Photo: Kenichi Hagihara, Creative Commons- license (attribution + non-commercial + no derivative works))